



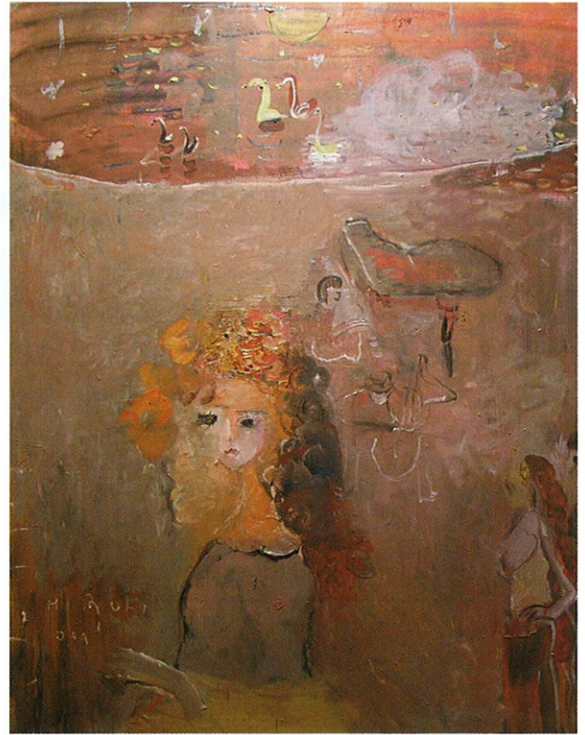
平成 24 年 6 月 15 日発行 鷹山宇一記念美術館友の会  
〒 039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内  
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/

▶「なんて素敵な織田廣喜展」開催にあたり、作品の解説をする織田廣喜先生。  
(2004年、鷹山宇一記念美術館)



### ● 織田廣喜 Hiroki-Oda

1914年 福岡県千手村(現嘉麻市)に生まれる  
1939年 日本美術学校西洋画科卒業  
1940年 第27回二科展に初入選  
1946年 第31回二科展で二科賞受賞  
1950年 二科会会員に推挙  
1960年 初渡仏  
1968年 第53回二科展で内閣総理大臣賞受賞  
1971年 第56回二科展で東郷青児賞受賞。パリで初の個展開催  
1992年 勲四等瑞宝章受章  
1995年 恩賜賞、日本芸術院賞受賞、日本芸術院会員になる  
1996年 碓井町立(現嘉麻市立)織田廣喜美術館開館  
1997年 碓井町名誉町民の称号を受ける  
2003年 勲三等瑞宝章、フランス政府芸術文化勲章・シュヴァリエを受章  
2004年 福岡市に美術館ミューゼ・オダ開館  
2006年 社団法人二科会理事長就任  
2012年 公益社団法人二科会名誉理事長就任  
5月30日、永眠。98歳



織田廣喜「エチュード」(キャンバス・油彩、2001年)  
ココア色の背景、柔らかな筆致が画家の暖かい人柄をも表しているようです。描かれる女性は皆品格を保ち、都会的でおしゃれで、織田先生の作品にはいつも、「パリの香りが漂ってます。皆さんはいかがお感じになりますか?

巨星がまた一つ、二科会名誉理事長・織田廣喜先生が98年の天寿を全うし、愛してやまなかつた奥様リラ夫人のもとへと旅立たれました。

先生は七戸町へも二度お出掛けくださいました。一度目は当館における「春季二科展」開催にあたって。そして当館開館10周年記念「なんて素敵な織田廣喜展」開催式に、鷹山宇一と仲間たちシリリーズの特別展でした。昭和・平成の時代に二科会を盛り上げてきた同志であり先輩・鷹山宇一先生を、織田先生は敬愛しておられました。そして展覧会には二科展を介して巡り会ったリラ夫人の作品もご出品くださいました。結婚後、自らは絵筆を取ることなく、夫と子ども達を支え続けた奥様を先生はこのほか大切にされておられました。事故で20余年寝たきりの夫人と終生ご自宅で一緒に過ごされ、常に奥様の傍らで制作をしながら、身支度、化粧、マッサージ、食事、入浴と、人任せにせずお世話をされていたといえます。そんな先生の慈愛に満ちたお心は、はじめてお会いした時すぐにわかりました。言葉を交わすまでもなく、オーラとなつて体中から溢れ出ていました。若いだけがとりえの学芸員にも、それが苦勞苦難の人生を幾重にも積み重ねなければ、あのような領域には達し得ないであろうことが感じられました。

また、七戸にお出掛けになられるたびに、先生は沢山のファンに囲まれて我が儘な要望にも心良く応じてくださいました。隔てなく接され、サインならぬ「似顔絵」を描いてくださいましたね。それは織田廣喜ならではの人物像に仕上がりがながらも、その人の表情や雰囲気的確に捉えられている、世界中でたった一つだけの宝物になりました。何人もの人々を描き終わって疲れたら、たいてい、「ありがとうございました。勉強させていただきました。」と、手を合わせ、すべてのことに感謝しておられました。日本洋画界に重鎮をなした画家、最高峰の人間とはかくも謙虚で清々しいものなのかと、感動せずにはいられませんでした。まさに混迷の現世にあつて、御仏の御功德を体現されているかのようでした。

そんな織田先生に巡り会えた幸運を噛みしめつつ、そしてこれも鷹山宇一記念美術館あつてこそその出会い、ひいては鷹山宇一先生がこの七戸町に生まれ、敬愛してやまない一人の人間として生を全うしたからこそその出会いなのだと思ひました。出会いというものがいかに人を豊かにするものか、人生を左右するものなのか、実感させていただきました。織田廣喜先生、ありがとうございました。そして、天国でリラ先生と積もるお話を存分になさってください。ご冥福を心からお祈り申し上げます。(学芸員・大池)

# 平成24年度 鷹山宇一記念美術館友の会総会開催



平成24年度総会で挨拶される盛田会長

鷹山宇一記念美術館友の会平成24年度通常総会が平成24年6月9日午後2時から開催され、平成23年度事業報告書、貸借対照表・収支計算書及び平成24年度事業計画書(案)並びに収支予算(案)、役員改選等の全ての承認議案が原案の通り可決されました。総会資料を別添の通り同封致します。

総会では、任期満了に伴う理事・監事の改選が行われ理事1名が交代致しました。長年役員を務められた方に深く感謝申し上げます。総会終了後行われ

た役員会において会長、副会長の再任が承認され、本年度の事業体制が整いました。(新役員紹介参照)  
本年も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 平成24・25年度 新役員紹介

会長	盛田 駿造(再任)	副会長	奥山 雅子(再任)
事務局長	戸館 栄一(再任)	理事	川村 美奈子(再任)
理事	小向 慎(再任)	理事	下山 恭美子(再任)
理事	山本 洋一(再任)	理事	下照 井村一(新任)
理事	附田 豊寿(再任)	理事	中村 陽一(新任)
監事	工藤 喜代子(再任)	監事	高田 晃一(再任)

## 「国際写真サロン」展に寄せて

青森県写真連盟副会長  
石田 清剛

鷹山宇一記念美術館で毎年開催されている「国際写真サロン」は、全日本写真連盟と朝日新聞社が主催する世界の写真愛好家を対象にした写真の国際交流展で国内外、プロもアマチュアも応募できる国内では最も権威ある写真コンテストです。

全日本写真連盟七戸支部が結成されたのは昭和58年ですが、当時は青森県内で行われる写真展も少なく、まして美術館で開催される写真展は全国的にも殆どない状況でしたが、いつかは七戸町で定期的に写真展を開催したいという夢を持って支部活動に取り組みました。

平成6年8月1日に七戸町立鷹山宇一記念美術館が開館したとき、写真愛好家として持ち続けている夢を実現するチャンスを感じていました。

平成8年11月青森県写真連盟本部主催の撮影会にお出でになられた全日本写真連盟事務局次長・酒井憲太郎氏に「国際写真サロン」を鷹山美術館で開催したいと申し入れ内諾を頂いたことがきっかけとなり、鷹山宇一記念美術館より朝日新聞社へ「国際写真サロン」開催の申請を行い、平成9年に開催された第57回から毎年開催されています。

国際写真サロンの開催を実現出来たのは、鷹山宇一記念美術館様の写真



全日本写真連盟は、1926年(大正15年)に創設された写真愛好家の団体で朝日新聞社が後援する全国組織。会員は初心者からベテランまで全国で約18000人。写真 国道交差点側から美術館を撮影 撮影者 T.T

芸術に対する深いご理解とご厚意により開催できたことだと写真愛好家として心から感謝しています。

また、平成23年から写真サロンと連動して町内の保育園幼稚園の五歳児さんを対象に「七戸町の好きなどころ」をテーマに写真で表現して頂く「まちかど美術館」の開催は、写真愛好家として嬉しい出来事でした。

常設展、特別展は勿論ですが鷹山賞児童作品展の開催など、地域に密着した文化芸術の情報発信基地として大切な役割を担っている鷹山宇一記念美術館の活動を町民の一人として今後も応援してまいります。

鷹山宇一記念美術館の益々のご発展をお祈り申し上げます。

(元友の会理事)



笠間日動美術館コレクション  
「金山平三十鴨居玲展」から  
Report

青森放送株式会社様のご共催を頂き、4月28日から「金山平三十鴨居玲展」を開催して参りました。

現場写生に徹して風景画を描いた金山平三十、街の中で取材し、アトリエで人物を描いた鴨居玲。描く対象も制作スタイルも相反する異色な2人の画家ですが、自己と向き合い、独特で存在感のある画風を確立しています。また、展示品の一つである両画家のパレットからも、描くということに真摯に向き合い、自分らしく生きた人生がひしひしと伝わってきます。

2人の画家から「生きるパワー」を貰った、そんな感じが致します。自分の心に訴え、語りかける特別な1枚に皆様も出逢うことができたのではないのでしょうか。



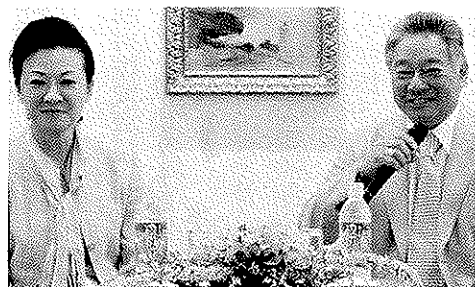
本展開催にあたり、看視ボランティア等友の会や文化協会、地元七戸高校の生徒の皆さん等、多くの皆様のご協力を賜りました。この場を借りて御礼申し上げます。

4/28(土)「金山平三十鴨居玲展」  
開催式テーブルパットの様子



「金山平三十鴨居玲展」開幕を祝してのテーブルパットを行いました。左から福士孝術当財団理事長、青森放送株式会社十和田支局長・竹内愛一郎様、七戸町長・小又勉様、七戸町議会副議長・天間清太郎様、青森県立美術館長・鷹山ひばり様にご参加頂きました。

5/12(土)日動画廊社長ご夫妻による  
講演会「日動画廊と画家の素顔」を開催



日動画廊代表取締役社長・長谷川徳七様、副社長・智恵子様ご夫妻による講演会。画家達の素顔、絵画を巡るエピソードは、友の会会員をはじめとする約35名の聴講者を魅しました。

「金山平三十鴨居玲展」  
お客様からの感想を  
一部ですが紹介します。

●秋田・青森の自然の厳しさが身に迫る、生きる力を少しでもいただけたらと鑑賞した。  
(大館市・60代男性)

●二紀会の作品を企画して頂き感謝しています。心を揺さぶる画を観ることは心の糧になります。ありがとうございます。  
(青森県・50代男性)

●鴨居玲の展覧会はほとんどやっていたいなかったため、今回ここで観ることができてとても嬉しく思いました。  
(弘前市20代女性)

●何年も前から入館してみたいと思っておりました。今回たまたま時間がとれたので入館してみました。2人の画家とも知らない方でしたが、絵や経歴などを拝見して興味を持ちました。  
(五戸町・60代男性)

●毎回新しい画家と出会うことができ嬉しく思っています。金山平三氏の作品は風景や画材になじみがあり、自分の生まれる以前のスケートリンク会場を想像したり写真と見比べたり今回も楽しく時間を過ごせました。  
(八戸市・40代女性)

●ひさしぶりに良い物を観た気がした。  
(十和田市・60代男性)

5/27(日)七戸町商工会女性部主催  
「七戸つじまわり観光ツアー」49名様ご来館



女性部の方々による手作りの昼食は、地元ならではの味！寄せ豆腐や山菜料理等とても好評でした。中にはご飯をおかわりする方も！大変おいしかったです(\*~\*)

天王神社のつじをメインに、七戸町の観光地を巡る「七戸つじまわり観光ツアー」が、七戸町商工会女性部企画主催により、今年も開催されました。

2班に分かれ専用バスに乗り、ガイドの方々の解説に耳を傾けながらのツアー。午前中は、つじロード、七戸城跡を散策した後、メインの天王神社へ。お昼に女性部の方々の手作りお弁当を頂き、その後レールバスを見学。金子ファミリーNAMIKIで休憩後、当美術館で「金山平三十鴨居玲展」を鑑賞致しました。  
つじの見頃は残念ながら過ぎました。七戸町の魅力をいっぱい感じる事ができ、大変好評だったようです。是非また実施していただきたいと思っております。

美術館 ●●●●●  
 ワークショップ ○●○●  
 ものづくり教室の ●●○●  
 (芸術文化観光推進事業)  
 鷹山宇一美術部  
 「アートでおもてなし」  
 ものづくり体験講座

■「鷹山宇一美術部」

鷹山宇一記念美術館では、七戸町の委託事業として、小学生から一般の方の幅広い世代の皆様を対象としますワークショップ「鷹山宇一美術部」を開催致します。昨年度までとは違い、毎回その道専門の講師の先生をお呼びしての開催となります。

今年度の内容を簡単ですが、左記にご紹介します。

▼活動予定

デジカメフォトレッスン／フォト「コラージュ&デジタル」／ロザファイ／年賀状木版画(全2回)／ステンドグラス／七宝焼

※友の会の皆様の参加を心よりお待ちしております。詳しくは当館までお問い合わせ下さい。

■「アートでおもてなし」

美術館ものづくり体験講座

24年度も引き続き誰でも気軽に体験できるこちらの教室。旅の記念に、お

子様との共同制作に、おそろいの作品づくりにと、幅広くご利用下さい！お待ちしております。

●ご当地ストラップ制作体験

七戸町の名産「南部せんべい」や「にんにく」をリアルに表現します。



●南部菱刺し体験

好みの模様を刺して立体額に出来ます。インテリアにも最適。



●木版画制作体験

はがきサイズの木版画を制作します。あなたも棟方志功に！



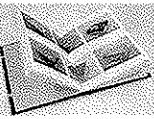
●シルバーアクセサリー制作体験

99.9%純銀製！世界でたった一つだけのアクセサリーづくりに挑戦。



●手づくりアルバム制作体験

思い出の写真を、世界で一冊だけのアルバムに立てます。



▼費用：お一人様

二千円(入館料込)

▼定員：一日ひと組5名様まで

(小学3年生未満は保護者の同伴)

▼時間：10時～13時 or 14時～17時

のいずれかにお申し込み下さい。

※ただし当館事業等の都合によりお客様のご希望にお応えできない場合がございます。何とぞご了承下さい。

第12回鷹山賞児童作品展

作品募集!!

青森県南部地方の小中学生に作品を公募する「鷹山賞児童作品展」は、郷土の画家・鷹山宇一を顕彰するとともに、子どもたちに制作体験を通して豊かな感性を養い、自由な創造の喜びを味わってもらえたら」と願い、開催する絵画コンテスト！

テーマは自由。四つ切り大画用紙以内の大きさを、平成24年度制作の平面作品を募集します。締め切りは、9月15日(土)。

二科会絵画部会員の濱田進先生を審査員長に、10月上旬審査会を行い、鷹山賞を頂点とする入賞者(概ね30名)には、当館における授賞式にて、賞状と副賞を授与いたします。このほか入選者(概ね100名)には賞状を贈ります。入賞・入選作品は、2012年11月18日～2013年1月27日まで鷹山宇一記念美術館に展示！県内外の多くの方々に紹介します！

詳しくは、美術館までお問い合わせください。「なんぶ」子」の皆さんのご応募をお待ちしております。



■ 昨年度鷹山賞児童作品展「鷹山賞」受賞作品

⑧小学生の部「いっばい育ったよ」(木版)

洞内那美さん(野辺地町立野辺地小学校5学年)

⑨中学生の部「アジサイ」(水彩)

甲地香南子さん(東北町立東北中学校3学年)

# ● 美術館日誌 ●

## 【EPR】

- ▼1日/佐伯、織川ロザフィー体験の為仙台へ。戸館館長、七戸高校卒業式に出席
- ▼2日/おもてなしワークショップ「菱刺し体験」2名様を受付、実施
- ▼3日/友の会海外研修旅行説明会
- ▼4日/アートツアー「ステンドグラスをつくろう」開催、あくつと！くらぶ補講（七宝・日本画、3名様出席）
- ▼8日/廊下カーテン取り付け工事。3館連携事業打合せ（戸館館長・船山常務理事）。戸館館長七戸中学卒業式へ参加。
- ▼16日/戸館館長、七戸養護学校卒業式に出席
- ▼17日/平成24年度高文連美術部東青支部美術館見学会52名様ご来館
- ▼20日/おもてなしワークショップ「ご当地ストラップづくり」1名様を受付、実施
- ▼22日/戸館館長、城南小学校卒業式に出席
- ▼25日/当財団平成24年度第1回理事會、第1回評議員會開催
- ▼27日/おもてなしワークショップ「ご当地ストラップづくり」3名様を受付、実施
- ▼28日/県観光連盟第2回通常総会に戸館館長出席
- ▼30日/秋山庄太郎写真芸術館企画展内覧會に戸館館長・船山常務理事出席

▼31日/友の會會報・レセプション案内状発送作業

## 【4月】

- ▼6日/青森県立美術館「フインランドのくらしとデザインムーミンが住む森の生活展」オープニングセレモニーに船山館長・大池学芸員出席
- ▼7日/おもてなしワークショップ「木版画」2名様を受付、実施
- ▼9日/船山館長、七戸中学校入学式に出席
- ▼10日/十和田新報社様ご来館、船山館長を取材
- ▼11日/特別展看視ボランティア依頼の為七戸高校へ（船山館長、織川頼の）
- ▼13日/船山館長・戸館常務理事、東京出張（成川美術館東京事務所）
- ▼14日/友の會監査會
- ▼15日/七彩會油絵教室開催
- ▼16日/船山館長・戸館常務理事、青森出張（青森放送本社）
- ▼17日/七戸町観光協會役員會に船山館長出席
- ▼20日/友の會「オランダベルギー美術紀行」へ出発（4月28日まで）
- ▼21日/十和田市現代美術館特別展「栗林隆WATER＊WASSER展」オープニングセレモニーに船山館長・大池学芸員・竹内学芸員出席
- ▼24日/展示替え作業の為臨時休館（27日まで）。ロビー屋根苔落とし（生涯学習課）。日動画廊富士根様「金山平三十鴨居玲展」展示作業の為ご来館打合せ。船山館長・戸館常務理事三沢市出張、赤司様より寄贈の申し出のあった蝶の標本を集荷

▼25日/「金山平三十鴨居玲展」作品搬入・展示作業（26日まで）。商工会サービス業部會總會、商工会合同地区集會へ船山館長出席

▼26日/日動画廊富士根様帰京

▼28日/「金山平三十鴨居玲展」開催式・テープカット。友の會海外研修旅行帰国

## 【5月】

- ▼10日/船山館長・大池学芸員・竹内学芸員青森出張（青森放送本社にて秋山庄太郎展打合せ。青森市内鷹山賞児童作品展協賛・後援各社へ協力依頼）
- ▼12日/日動画廊代表取締役社長・長谷川徳七様、副社長・智恵子様ご夫妻ご来館。講演會「日動画廊と画家の素顔」開催（約35名様聴講）。七彩會油彩教室開催
- ▼15日/県南新聞様ご来館、船山館長を取材
- ▼16日/当財団監査會。秋山庄太郎写真芸術館・館長上野様ご来館、「秋山庄太郎写真展」打合せ
- ▼17日/秋山庄太郎写真芸術館・館長上野様と再打合せ。RABサービス社長・加藤様ご来館。中央ライオネスクラブ17名様ご来館。十和田市現代美術館にて船山館長・大池学芸員・竹内学芸員3館連携事業打合せ。船山館長、七戸町観光協會親會に出席（杉屋敷）
- ▼18日/当財団三役會開催
- ▼22日/石江地区社会福祉協議會83名様ご来館
- ▼23日/南部藩児童交流事業遠野市ご担当者様ご来館、打合せ
- ▼24日/船山館長、七戸町教育委員會

事業評価委員會に出席

▼26日/当財団平成24年度第2回理事會

▼27日/「しちのへつつじまつり観光ツアー」49名様ご来館。アップルツアー40名様ご来館

▼30日/岩手県議會15名様ご来館。栃本県美術館友の會30名様ご来館

▼31日/アップルツアー40名様ご来館

## ★新スタッフのご紹介★



竹内千裕（たけうちちひろ）です。学芸員として採用されました。どうぞよろしくお願ひ申しあげます。



しちのへつつじまつり観光ツアーで訪れた金子ファームの風景。菜の花がとてもキレイでした。

～平成24年度研修旅行のご案内～

「世界文化遺産中尊寺の旅」&「平山・大原・大塚美術館の旅」

平成24年度友の会研修旅行が決定致しました。  
友の会会員の皆様のご参加をお待ちしております。  
お早めに美術館にお申し込み下さい。

平成24年度 第1回研修旅行  
日 時：平成24年7月29日(日)  
研修先：岩手県 中尊寺・平泉文化遺産センター  
参加費：8,000円(入館料、昼食、バス代含む)  
募集人員：先着40名(最少催行人員は20名)  
募集締切：平成24年7月20日(金)

世界遺産 中尊寺の旅日程

7:20 七戸南公民館出発  
7:30 鷹山宇一記念美術館出発  
8:30 八戸高速インター経由  
11:20～12:10 平泉文化遺産センター見学  
12:20～13:20 平泉観光リストセンター 昼食  
13:30～15:00 中尊寺見学  
15:00～ 平泉前沢IC～岩手山SA～八戸IC  
19:00頃 鷹山宇一記念美術館着  
※詳細日程は、後日参加者にお送りします。



昨秋多くの入館者で賑わった「平山展」の際に、平山先生のこの秘仏を描いた作品は、深い感動を与えてくれました。  
中尊寺は、世界文化遺産の登録記念と東日本大震災の復興を祈願し、秘仏「一字金輪佛頂尊座像」(重要文化財)を7月17日から12年ぶりにご開帳することになりました。

平成24年度第2回研修旅行「平山郁夫美術館・大原美術館・大塚国際美術館」を訪ねる芸術の秋の旅をご案内致します。詳細は別添のチラシをご覧ください、お早めに美術館にお申し込み下さい。  
日時：平成24年10月17日(水)～19日(金)2泊3日  
研修先：広島県 平山郁夫美術館  
岡山県 大原美術館  
徳島県 大塚国際美術館  
参加費：135,000円  
募集人員：先着25名(最少催行人員は15名)  
募集締切：平成24年7月31日(火)

友の会会員登録の更新と  
新規会員登録入会お誘いのお願い

平成23年度も会員の皆様には友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有り難う御座います。  
総会も終わり、新年度事業のスタートになりましたが、皆様には一層のご理解とご協力を賜りたく、特に新規会員の勧誘を御願ひ申し上げます。  
更新手続きがまだの方は、引き続き更新を御願ひ申し上げます。なお、更新手続きは、美術館窓口と郵便振替により行っておりますのでよろしくお願ひ致します。

○友の会の事業内容

- ① 県内外美術館研修視察旅行(年2～3回)
- ② 海外美術館研修旅行(第5回海外研修旅行)  
2012年4月 オランダ・ベルギー美術紀行)
- ③ 美術館作品購入基金への協力
- ④ 鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤ 会報の発行
- ⑥ その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

特 典 費  
① 無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引  
② ミュージアムグッズ1割引

○特別会員

特 典 費  
① 一般会員特典に加えて  
② 新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

特 典 費  
① 一般会員特典に加えて  
② 新規加入の方に画集1冊贈呈

◇ 詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★お知らせ

★会費の納入は随時受け付けておりますが、10月1日以降に新規会員となった方は、翌々年の3月31日までの会費となります。  
★会員の方で監視ボランティアにご協力出来る方は美術館までご連絡をお願い致します。

編集後記

第5回友の会海外研修旅行「ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて」に参加された皆様方の出会いと発見、驚きと感動の思いでの記念写真は、白黒では勿体ないのだからページに掲載させて頂きました。  
★国内研修旅行には知人友人と一緒には是非ご参加下さるようお願い致します。  
(T.T)

第5回友の会海外研修旅行 紀行文  
「ゴッホ・フェルメール」  
「ランブラントを訪ねて」

第5回研修旅行は4月20日から28日までの9日間、27名の会員参加で催行。ゴッホ・フェルメール・ランブラントの絵画のほかチューリップ群や幾多の世界遺産、ベルギービール等を堪能。お二人の参加者の紀行文をご紹介します。

”発見”から”共感”の旅に

七戸町 佐々木寿夫

旅は”発見”とよく言われるが、今度の旅もまさしくその通りの旅ではあった。

ゴッホ美術館でゴッホの絵を年代別に見た時、彼の絵に人生を賭けるすさまじいばかりの執念を発見し、ただ感嘆するのみであった。新しい絵の境地を開くために、一つの絵に納得せず次々に画風を変えていく、このことで彼の絵が、なぜ私にとっ

てしっくりとこないのか、なぜ命を絶ったのかほんの少しだけわかった気がした。一つの発見から思考が生まれ、納得が生まれた。  
フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」、何度か本では見ていたが、あの美しさ、少女の可憐さ、振り向いている少女の瞳には心を奪われてしまった。そしてなぜあの小さな絵が、日本で展示され評判になったのか分かった。  
ランブラントの「夜警」、まず絵

の大きさにびっくりした。実際はもっと大きな絵であったという。全体に色調は暗いが、あの斜めに走る光から夜警ではなく昼の警備であること、よく見ると「銃の操作」が三段階に描かれていること、あの光っている少女はなぜあそこに必要であるのかなど書き切れないたくさん発見があった。

説明では、ランブラントは、あの絵で一人一人の人物像を目立つように描くよりも、芸術性を追求したという。オランダの都市自治が、都市貴族の肖像画のような絵から、新しい画風を、絵を生み出したのではないかと思った。  
書き切れないほどの発見と、疑問、納得を得た旅ではあったが、そのことをうなずいて聞いてくれる、「共感」してくれる友の会の皆さんがつれ旅行団の連帯感が深まっていた。参加して良かった。心から思う。



クラー・ミュラー美術館前庭にて



キューケンホフ公園にてチューリップのシヨパン像

美術紀行に参加して

三沢市 山田陽子

憧れのゴッホ・フェルメール・ランブラントの名画を鑑賞し、お国のビール・ワイン・料理を期待し、初めて参加させていただきました。

オランダ人である  
ヴァン・ゴッホの  
短い人生が凝縮され  
れている気迫溢れる  
絵画の前に立ち  
ゴッホの情熱と才能に  
圧倒されて参りました。  
またフェルメール  
の「手紙を読む女」  
は仙台で堪能しましたが、  
アムステルダム  
の歴史  
的価値  
の高い  
巨大



ブリュッセル・世界遺産  
グランブラスで記念写真

国立博物館の中では、絵画の多さにビックリやお会い出来た感じでした。  
世界三大名画「夜警」ランブラントの光と影のドラマチックな演出と絵画の巨大さに驚き感激いたしました。  
ベルギーの「世界で最も美しい広場」と称されるグランブラスに圧倒されました。これぞ世界遺産だと納得いたしました。その世界遺産の中の昼食は、ベルギービール・鍋ごと出たムール貝と最高の味でした。  
ベネルクスの煉瓦の家並み・運河・教会・マルクト広場・石畳・路面電車：情緒ある風景の中に立っている自分は、夢を見ているようでした。今回、初めて参加させていただき不安でしたが、添乗員さんや、皆様の人柄と、何にでも興味を示し、行動の素早さにすごく感心し、自分も頑張らなくてはと思っております。楽しい旅・最高の時間を過ごすことが出来ました。感謝申し上げます。